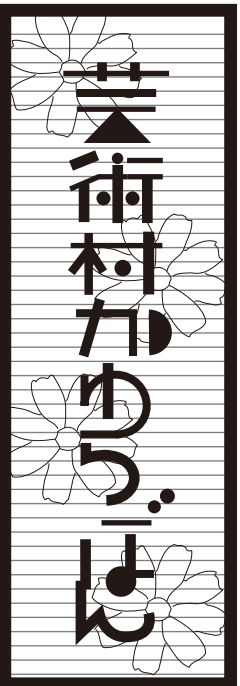


回覧



2023 9月号

9/3日
まで

土川博物館 米果南国展 まもなく閉幕します



7月15日に開幕した展示「土川博物館」米果南国展が、もうすぐ閉幕します。期間中、夏休みということもあり、多くの方が来館しました。台湾と西会津の交流や会津との歴史的な関係など、初めて知る人が多く、「そんな歴史があったとは知らなかった。」という感想を多く聞きました。

8月19日には、駐日リトアニア大使が来館され展示を見学されました。

また、台湾のお菓子やドライフルーツなどの物産は「西会津で台湾のお菓子が買えるなんて。知人にお土産にする。」と町内からの来場者にも好評です。展示期間もあわずか。ぜひ、ご来館ください。

砂糖不使用・完熟果実の
ドライフルーツも好評!



【芸術村購買部で取扱中】



【アーティスト滞在報告①】

Weed Day 「自然の循環のなかで生きる」 トークイベント・交流会

8月22日〜30日

台北にて、台湾茶と雑草茶の活動をしているティファニー・レイさんとリン・ゾウさんが滞在しました。「Weed Day」という名前で、台北市を拠点に野草茶のお店を営みながら、都会の中にもある身近な自然や植物の多様性がもたらす人間の豊かな暮らしについて作品を発表している彼女たちは、出ヶ原和紙工房を見学したり、山深い西会津町ならではの自然を体験しました。

8月26日〜27日には、植物や発酵などをテーマに活動する鈴木三子さん(萱本)や醸し処ひふみ・高藤亜未さん(新潟市)をお招きしてトークイベントやワークショップなどを開催し、交流しました。

【アーティスト滞在報告②】 エド・サトミ 望郷地図

展示会期：8月11日〜20日
会場：にぎわい番所ぶらっと

地図をテーマに作品制作をするドイツ在住のアーティスト、エド・サトミさんが、今回表現したのは中世の西会津に存在したといわれる幻の湖「牛海」。

野沢はかつて2度、水の底に沈み、その湖は、「牛海」と呼ばれていました。

西会津の中世の水と丘の地形図を描き、大地に広がる夏空の青さとして、また旅人が一息入れたオアシスをデザインシートの色で表現した作品は、ぶらっとの中から鑑賞すると、「牛海」の底から光を見ているような不思議な感覚になる作品でした。



ドイツの朝食ワークショップ

8月13日、エドさんの暮らすドイツの朝食を食べ、食事後の卵の殻でお皿に地図を作るワークショップを開催しました。冒頭、エドさんの作品を前に、郷土史家の田崎先生より牛海の歴史解説からスタート。

ドイツの朝食はライ麦パン・ハム・チーズ・フルーツというのが定番の組合せだそう、若い世代は、麦やナッツドライフルーツがミックスされたミューズリーにヨーグルトをかけて食べる人が多いそう。普段食べているパンとは違い歯ごたえがあり、チーズやジャムも珍しく、美味しいだけでなく文化体験としても楽しいものでした。



その後、卵の殻で皿の上に地図を作りました。手に取ったときは、ただの卵の殻が、地図を作り出すとそのひと欠片に意味が生まれ、皿そのものが大きな海に見えてくるから不思議です。最後にそれぞれが作った地図の説明を聞く時間もまた楽しく、同じ素材で異なる意味が生まれる楽しいワークショップとなりました。

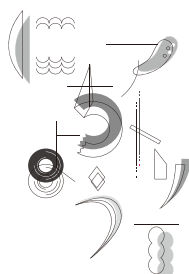
【展示替えによる臨時休館のお知らせ】

西会津国際芸術村では、9月4日〜9月29日まで「第18回西会津国際芸術村公募展」に向けた展示準備のため臨時休館となります。ご理解の程、よろしくお願いたします。

公募展 2023

展示会期
9月30日(土)
〜10月22日(日)





今月のにちようアトリエは？

“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。

8月、葉っぱを直接トンカチで叩いて、これだけ周りに植物がある場所で、草木染めを行わずしてどうする！とずっと思っていたはいましたが、アトリエの時間内で完結できる染色は難しい。そこで思い出したのが叩き染め。技法としては原始的ではあるけれど、葉っぱがそのままうつつし出されることに直感的な面白さを感じます。そういうえぼ幼い頃、葉っぱを摘んでいろんな遊びをしたな、なんて事も思いながら。

このメニューのために、春から藍も育ててみました。ところが・・・最近知ったのですが、生の藍の葉は絹でないとその色を残さないそう。ご参加くださった皆様、お詫び申し上げます。お手元にある藍の色は近く色を失くすかと。どうかみんなでトントンした時の記憶をお残しくださいませ。



にちようアトリエ 9月予定表

9/3 『ドリップングで描いてみよう』

ドリップング(吹き流し)とは、紙の上にとらした色水を、ストローなどで吹き動かして模様を作るテクニクです。偶然生まれる模様、色の強さ、混じり合う色と色、とても面白い絵が出来ます。みんなでチャレンジしてみましょう!



9/10 9/17 9/24 おやすみ

芸術村は『第18回西会津国際芸術村公募展2023』の準備のため、9月4日～9月29日まで閉館させていただきます。併せて、しばらくアトリエもおやすみとなります。10月1日の日曜日から、また楽しく創作しましょう!

アトリエは…毎週日曜日 13:30～16:00(時間内の出入り自由)、参加費無料、予約不要です!

スタッフおすすめ 今月の本

子どもは子どもを生きています

写真・ことば:小西貴士



この本は、「じぶんカフェ」にてお読みいただけます。

芸術村スタッフオオバコの本をご紹介します。今回は市古が担当します。今年の夏休み、子どもたちはどんなことをしたでしょうか。どんな発見をしたでしょう。

これは「子どもをめぐるとまく言葉にならない素敵なこと」をテーマに写真撮る写真家の写真集。小西さんに切り抜かれた一瞬の表情や、そこに添えられたことばたちが、それはそれは魅力的で大好きなんです。

私たち大人が羨ましくなるほどささやかに 子どもは子どもを 生きています。



美味いものや季節のことがいろいろ...

今年は各地、祭りが復活していますね。西会津でも、各集落で盆踊りが開催されてきました。会津と言えば、会津磐梯山でひたすら踊るのですが、関東の友人達は荻野目洋子のダンシングヒーローやボン・ジョビで踊ると聞き、Youtube で見てびっくり!アップテンポの音楽に合わせて、踊り慣れたお姉さん方がキレのよい盆踊りを踊っているではないですか!めちゃくちゃ楽しそうですね!盆踊りのいいところは、振り子を完璧に覚えていなくても、誰かのマネをして、まあよく輪を囲むだけで楽しいというところ。上手に踊れなくても不思議とみんなが笑顔になれる良さがありますよね。さて、来年のために練習ははじめようかな。



インスタ日記

#写真撮影の舞台裏

今年の夏は暑いという表現を通り越して痛いような陽差しでしたね。まだまだ暑さが落ちつきませんが、さすがにお手上げしたくなります。



#猛暑 #お手上げ

マワリテメクハ
季節の草木ノート

オオバコ(オオバコ科・多年草)
日本中の道端などでみられ生命力が強く、昔から風邪の民間薬としても知られています。

抗酸化ビタミンと呼ばれるアスコルビン酸や疲労回復に効くとされるクエン酸のほか、水溶性食物繊維が含まれており、腸内環境の調整も期待されます。

「つかい方」
特にのどの痛みやせき止めなど風邪の諸症状に効果があると言われています。やや、苦味があるのではちみつなどを入れて飲むのもおすすめです。



SNS更新中! チェックしてみてくださいね!

【お問い合わせ】西会津国際芸術村
tel : 0241-47-3200
mail : niav.public@gmail.com
〒969-4622 福島県耶麻郡西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752



【HP】 【LINE】 【instagram】 【Facebook】 【YouTube】 【Twitter】

